

グリオーマが形成する脳周囲環境が二次的に脳血管構築に与える影響について

本学で実施しております以下の研究についてお知らせいたします。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報は、特定の個人を識別不可な情報へ変更（匿名化）いたします。

匿名化する前に参加拒否の申し出があった場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	グリオーマが形成する脳周囲環境が二次的に脳血管構築に与える影響について
倫理審査 受付番号	第3798号
研究期間	2021年 5月倫理審査承認日～2022年 3月31日
研究対象情報の 取得期間	下記の期間に脳神経外科を受診された神経膠腫（グリオーマ）の方 2013年 4月 1日～2021年 3月31日
研究に用いる 試料・情報	試料等、カルテ情報

研究概要

（研究目的、意義）

日本の神経膠腫（グリオーマ）の有病率は、約4,000-5,000人/年とされ、比較的稀な脳実質内腫瘍とされています。グリオーマは腫瘍増大過程において、血管内皮細胞増殖因子を分泌し、腫瘍栄養血管を発達させるとされていますが、脳実質性腫瘍であるグリオーマが、硬膜栄養血管をもつことは稀で、脳血管奇形（動静脈奇形、動静脈瘻、静脈奇形、海面状血管腫など）の併存についても、過去に数例の症例報告があるだけです。そこで私たちは、グリオーマが形成する脳の周囲環境が、二次的に脳血管構築に与える影響について検討すべく、本研究を計画いたしました。

（研究の方法）

カルテより日常診療で得られた情報を収集し、統計的な解析を行い、当院で診断されたグリオーマの患者さんの背景や血管造影検査、病理所見などについて検討を行います。

<主要評価項目>

血管奇形の有病率とその特徴

<副次評価項目>

血管内皮細胞増殖因子受容体染色とMRIでの硬膜造影の有無、硬膜枝の有無、早期静脈描出の有無などとの関連、年齢、性別、術前患者状態、腫瘍左右局在、腫瘍の脳局在、硬膜との接着の有無、MRIでの硬膜造影の有無、血管造影の有無、硬膜枝の有無、早期静脈描出の有無、栄養血管の同定、流出静脈の同定、血管奇形の有無、血管奇形の種類、初回手術日、手術の有無、手術の種類、術後状態、病理診断、血管内皮細胞増殖因子受容体染色の結果など

（個人情報の取り扱いについて）

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

（研究組織）

本研究は兵庫医科大学脳神経外科を代表施設とし、岐阜大学脳神経外科、亀田総合病院脳神経外科を分担施設として行われる多施設共同研究です。

（外部への試料・情報の提供）

本研究は多施設共同研究ですので外部への試料・情報の提供が行われることがあります。その際にも個人情報を厳重に保護し、宅配業者または郵便局の郵パックを使用して行うものとします。

**本研究に関する
連絡先**

兵庫医科大学病院 脳神経外科
吉村 紳一（研究責任者）
立林 洸太郎（研究担当者）

TEL | （平日 8 : 30～16 : 45） 0798-45-6458
（上記時間外） 0798-45-6111